

2014 年度公益社団法人日本建築家協会 JIA 優秀建築賞表彰式典 2015 年 4 月 24 日

4 月 24 日、神宮前の日本建築家協会館ホールにて、2014 年度公益社団法人日本建築家協会 JIA 優秀建築賞授賞式が行われました。応募総数 200 点の中から、大賞には「山鹿市立山鹿小学校」(設計：工藤和美・堀場弘／シーラカンズ) が選ばれ、優秀賞は、團紀彦氏設計、弊社施工の「Omotosando Keyaki bldg.」ほか 4 点が選ばれました。

芦原太郎 JIA 会長は式典で、「この建築界のアカデミー賞ともいえる賞は、優秀建築賞に加え、新人賞、25 年賞、環境建築賞を設けており、新しい若い建築家へのエール、一定の時間を経た建物が役に立っているか地域社会での役割、環境にとっていかに負荷を軽減しているかなど、さまざまな観点で建築、あるいは建築家に賞を与えていくもの」と述べられました。

2013 年に公益社団法人となった日本建築家協会は、これまでの「日本建築家協会賞」を「JIA 優秀建築賞」と改め、応募条件を全建築士に広げました。(以前は応募は会員限定)

審査は、建築家以外の審査員の持ち回りだったものが、昨年より建築家も加えて、今年は横 文彦氏・大森見彦氏・深尾 精一氏・長谷川 逸子氏・西沢 立衛氏により行われ、まず一次審査で 100 点に絞り、その後 5 点に、そして最後は公開審査で大賞が決定されました。審査委員長の横文彦氏によると、大賞の山鹿小学校は満場一致だったとのこと。総合点での評価の高い組織事務所に対して、アトリエ事務所作品は、規模は小さいながら、デザインのユニークさを評価したということです。

有名建築の林立する表参道の、新たな名建築として評価いただいた「Omotosando Keyaki Bldg.」。施工に携わることができ、設計の團紀彦先生、建て主のウエムラ合同会社様に改めて感謝申し上げます。



優秀建築賞を受賞した弊社施工の「Omotosando Keyaki bldg.」



芦原太郎 JIA 会長



横文彦審査委員長



設計の團紀彦氏



弊社社長森村和男

「(仮称) 上原の家 新築工事 地鎮祭」 3 月 26 日

井の頭通りから 1 本入った、閑静な住宅街に建つ住宅です。外断熱で一部杉板の打ち出し壁を擁する専用住宅です。ShinClub139 号で紹介した「M 邸」の設計者の一人、枝松玲子氏の設計です。



構造：RC 造
規模：地上 4 階
用途：専用住宅
設計：枝松玲子 / twigdesign
一級建築士事務所
完成予定：2015 年 8 月

「『旭町診療所』が『GA JAPAN 134』号に掲載されました」



撮影：平賀哲

ShinClub178 号で学生見学会の様子をご紹介した「(仮称) 旭町クリニック」が 4 月に完成、「旭町診療所」としてオープンされました。今回、『GA JAPAN 134』に掲載されています。ShinClub でも近々ご紹介します。

構造：RC 造
規模：地上 2 階
用途：診療所
設計：田邊曜
設計協力：木下道郎ノワークショップ
竣工：2015 年 3 月

「N 邸 新築工事 上棟式」 4 月 18 日



都心の閑静な住宅地に計画された専用住宅です。いよいよ棟上げ、一同、工事の安全を祈願しました。

構造：木造
規模：地下 1 階、地上 2 階
用途：専用住宅
設計：相坂研介アトリエ
完成予定：2015 年 8 月

「コイシカワコロロンが、『日経アーキテクチャ』4 月 25 日号に掲載」



日経 BP 社 WEB 版建築情報誌の『ケンプラッツ』2015/04/13 に引き続き、本誌 4 月 25 日号にも掲載されました。どうぞご覧ください。

編集後記

・GW、皆様どうお過ごしになったでしょうか。この頃は、急な夏日の訪れに驚かされます。
・「コイシカワコロロン」の設計ユニット、「北仲 34」の設計事務所が入る横浜の宇徳ビルは、横浜の歴史的建造物を活かしたクリエイターたちの活動プロジェクト「北仲 BRICK&北仲 WHITE」を引き継いだ「本町ビルシゴカイ」が、2010 年その解体に伴って移転した拠点です。名称も「宇徳ビルヨソカイ」、設計事務所やデザイナーの方々 19 組がアトリエ・スタジオを構えています。建物再生や環境問題への対応に積極的なクリエイターの方たちが、互いに刺激合って仕事をされている様子がわかります。

(株)辰 通信 Vol.182 発行日 2015 年 5 月 15 日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : http://www.esna.co.jp

SHIN CLUB 182

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



before



after

「koishikawa : (コイシカワコロロン)」 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

女性専用シェアハウス

今月ご紹介する、写真の「コイシカワコロロン」は、もともと印刷会社だったビルを一枚まるごとリノベーションしたものです。1-3 階は保育園、4-6 階は賃貸共同住宅ですが、なかでも、4 階のワンフロアは、女性専用のシェアハウスとなっており、ツインキッチンカウンターのある LDK に、8 部屋が用意されています。

企画の「Rバンク」はシェアハウス、特に女性向けのプランニング、コーディネート実績が多く、自社のマーケットデータを駆使して、都会に住みたい女性たちが重視する点を細かく分析、そのニーズに応えているようです。

Rバンクの資料によると、女性がシェアハウスを選んだ第一の理由としては、まず初期費用の安さがあげられます。次に挙げられている、家電など生活設備が整っていることも同様の理由でしょう。自分でいろいろそろえようとすると、それなりにかかります。また、清掃サービスなどがあり、楽に生活できることも重要です。清潔であることは、重要なポイントです。

それから、やはり共同生活での安心感という点でしょう。東日本大震災では、実際に、多くの女性から一人暮らしの不安を訴える声を聞きました。最近は物騒な事件も多く、帰宅時に明かりがついていて、ただいまと言えることのうれしさは、経験したことがない人にはわからないものです。地方から娘を送り出している親御さんの気持ちにも応えるものです。

選ぶ際に重要視したポイントは、という問いには、立地・賃料を除けば、女性専用であること、インテリアや内装デザインがおしゃれかどうかという点もかなりの割合を占めています。古いタイプの賃貸住宅には、若い女性はあまり住みたくないものです。名前もまず大事な要素になってきます。

共用部分で必要と思われる設備には、物干スペースや乾燥機など、洗濯関連のものが並ぶのも女性ならではの項目。そして共用部にもっとあったら楽しいと思えるのは、スクリーンとプロジェクター、ヨガスタジオなどの体が動かせスペースや、マッサージチェア。働く女性の癒しの場所の必要性を感じます。時代を表していますね。

さて小石川という場所は、住宅地ではありませんが、表通りの春日通りを 1 本入ったところでも 印刷所・製本所の多い地域でした。しかし、長引く出版不況でそういう会社も少しずつ減り、周辺の出版社も IT 関連企業との合併などで新たな道を探っています。

一方、住宅環境としては小石川後樂園や東京大学附属植物園など、緑豊かな環境です。茗荷谷に向かう播磨坂の桜並木は、毎年近隣の多くの人の目を楽しませてくれます。

そして、文京区の名の通り、小学校から中高、大学まで、かなりの数の学校施設が点在しています。女性がかりに結婚し、子供を産んだとすると、当然この地で長く暮らしていくために教育環境の良さが外せない要件になります。まずは働くために、子供は保育園に預けなくてはなりません。それをわかっているかのように、1-3 階には保育園が設けられました。

「女性にとっては理想的な環境の小石川なのに女性向けの物件がまだまだ少ない」と Rバンクの藤田将友社長。これからも、古いビルに新たな命を吹き込んでくれるのではないのでしょうか。